

これからのリーディング産業はこれだ！

～「ナノテク・材料技術」による日本の競争力～

第6弾 半導体／微細加工

このたび、経済産業省では産業界、学協会等の協力を得て、「最先端のナノテク・材料技術」で国際競争力を有している産業に興味・関心を持つ大学生・院生を対象に、以下のとおり講演会を開催いたします。

（1年生から博士まで、大学生・院生であれば理系・文系誰でも参加できます。）

産業界の第一人者、最前線で活躍している研究者等の生の声により、我が国の製造業について理解を深めるチャンスです。この機会に、是非ご参加ください。

大学生・院生対象

●日時

平成20年3月5日（水） 10時～17時頃（見学を含む）

●講演会場

経済産業省別館 10 階 1014 号会議室

(http://www.meti.go.jp/intro/data/index_org.html 参照)

●テーマ・講師

1)「半導体の新技術と未来」

東京大学 国際・産学共同研究センター 教授 桜井 貴康氏

2)「ナノテクをリードする半導体の魅力」

株式会社半導体先端テクノロジーズ 代表取締役社長 渡辺 久恒氏

3)“産業のコメ”半導体、その業界動向と将来展望」

(株)産業タイムズ社 齋 秀樹氏

●見学会（午後）

東芝科学館

●参加費用

無料（昼食及び講演会場から見学会場への往復移動費用含む）

●当日のスケジュール

10:00～12:00 講演会

14:00～17:00 見学会

●申込方法 <http://www.jfe-tec.co.jp/index.html> にあるフォームから申し込みをお願いします。

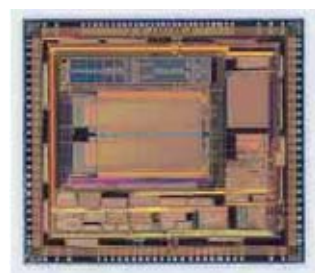
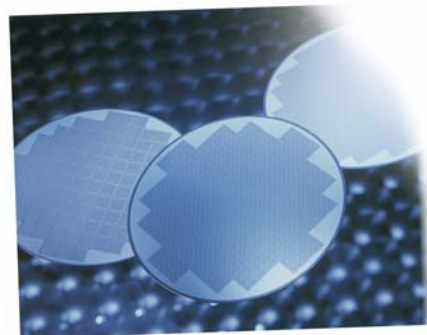
後日、登録された e-mail アドレスへ受講票を送付いたします。なお、定員を超えた場合には抽選のうえ、当選者に受講票を送付いたします。

申し込み先 e-mail: nanotech@jfe-tec.co.jp

●締切り 平成20年2月27日（水） 17:00

●問い合わせ先 JFEテクノリサーチ株式会社 技術情報事業部 調査研究第3部（担当 石原、弓立）

TEL: 03-3510-3396



主催：経済産業省

（社）電子情報技術産業協会、（財）化学技術戦略推進機構、ガラス産業連合会、炭素繊維協会、ナノテクノロジービジネス推進協議会、（社）日本アルミニウム協会、（社）日本化学会、日本化学繊維協会、日本鋳業協会、日本伸銅協会、（社）日本セラミックス協会、（社）日本鉄鋼協会、（社）日本ファインセラミックス協会

事務局：JFE テクノリサーチ株式会社

●講師、講演概要紹介



桜井貴康氏
東京大学教授

<講演概要>

半導体技術は今は情報産業の基盤を作っていますが、今後は自動車や街角、家やロボットなど「モノ」にも入って人々のより良い生活を実現させていきます。その中で、日本の集積回路技術は、低消費電力化、3次元化などで世界をリードしています。また、有機半導体を使った大面積エレクトロニクスなども日本で新展開を見せています。シリコンバレーの様子なども含めながら、最新のトレンドをやさしく解説します。

<プロフィール>

(株)東芝で多くの半導体メモリやプロセッサチップをデザイン。2年間ほどカリフォルニア大学バークレー校で研究、シリコンバレーのベンチャーと共同開発などを経験。その後、大学に移って低電力チップや有機エレクトロニクスの研究のかたわら、米国ベンチャーなどのコンサルティングも精力的に行っている。



渡辺久恒氏
(株)半導体先端テクノロジーズ社長

<講演概要>

デジタル家電、通信システム、コンピュータには、50-100 ナノメートルのトランジスタが数百万個以上集積化された半導体チップがふんだんに使われています。もっと長時間の動画や音声を超高速に大量処理できればさらに快適・省エネで楽しいライフスタイルが待っていますが、そのためには超小型で消費電力が極めて少ない半導体チップの開発が必要です。今後、10-20 ナノメートルのナノテク開拓に突入しますが、これまでと全く発想の異なる知恵が望まれます。ナノテクのリーダたる半導体はこれからが独創的で面白い分野です。

<プロフィール>

2006年から先端半導体の研究開発を行う民間と国家プロジェクトのリーダを併任。2007年より文部科学省CRESTプロジェクトの研究総括。1988年、「人工原子(半導体素子)特許」で科学技術庁注目発明表彰。

<講演概要>

携帯電話やパソコン、薄型テレビ、自動車など様々な機器の進化を支える半導体。その市場では多数の日本企業が活躍しています。そして半導体技術はナノテクを利用して今後も絶え間ない発展を遂げていくでしょう。本講演では半導体業界の最新動向と将来像をわかりやすく解説します。

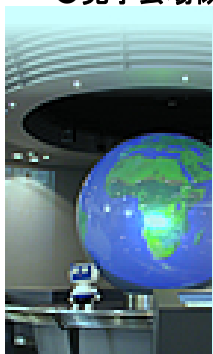
<プロフィール>

半導体メーカー、半導体業界誌副編集長を経て、2002年から「半導体産業新聞」の記者に。その傍ら03年に「週刊ナノテク」編集長として同誌を立ち上げる。同誌と半導体産業新聞の統合後もナノテク担当記者として精力的に取材を行っている。著書に「これが半導体の全貌だ」(共著、かんき出版刊)、「入門ナノテクビジネス」(共著、東洋経済新報社)がある。



齋秀樹氏
(株)産業タイムズ社

●見学会場概要 (東芝科学館)



(協力: 東芝科学館)

<見学内容>

☆川崎の多摩川沿いにある東芝科学館を訪問します。東芝科学館は、“人と科学のふれあい”をテーマにした文化活動拠点です。半導体の製造技術や応用製品をはじめとして最先端の科学技術を体験し、理解できるよう、様々な工夫が施されています。「科学と生活」、「技術と社会」とのつながりから、環境問題を考えるきっかけにもなるでしょう。